



# 尚絅中学校 尚絅高等学校

## 高校卒業式

令和5年3月1日(水)尚絅アリーナにおいて、第75回卒業証書授与式を挙行しました。ご来賓の方々や多くの保護者のみなさまに見守られ、厳かな雰囲気の中、心温まる式が執り行われました。

式後のホームルームでは、保護者の見守る中で担任の先生から一人ひとり卒業証書を受け取り、生徒たちは改めて高校卒業を実感するとともに、仲間と写真を撮り、メッセージを交換し、高校生活最後の時間を過ごしました。189名の卒業生が名残惜しくも学舎を旅立っていきました。



## 中学卒業式

令和5年3月9日(木)に中学3年生の卒業証書授与式を行いました。校長先生からの卒業証書授与、祝辞の後、担任の先生からのメッセージと続きました。最後は卒業生がこれまでの生活を振り返り、涙ながらに周りの人たちへの感謝の気持ちや高校での決意を述べました。一人ひとりの成長した姿に拍手やエールが送られ、とても良い式になりました。



## 中高入式

令和5年4月11日(火)尚絅アリーナにおいて、尚絅中学校、高等学校の入学式を挙行しました。穏やかな空の下、新生活への希望を胸に新しい制服に身を包んだ新入生が登校し、晴れやかな表情を見せてくださいました。入学式では、校長先生の入学許可宣言に続く式辞、理事長お祝いの言葉の後に、中学生、高校生の新入生代表がそれぞれ誓いの言葉を述べました。

今年の入学式では、ギター・マンドリン部の演奏や合唱部と剣道部による校歌披露、国歌斉唱など、少しづつコロナ以前の風景が戻ってきました。

式後のホームルームで担任の先生の話に真剣に耳を傾ける新入生の姿は、とても初々しいものでした。



## ウィーンの音色が届いた春～ふれあいコンサート～

令和5年4月14日(金)尚絅アリーナにて、「2023 ウィーン・プレミアム・コンサート トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン 次世代プログラム 感動をお届けする『ふれあいコンサート』」が行われました。本公演はトヨタ自動車の社会貢献活動の一環として全国で選ばれた学校で実施されました。当日はモーツアルト「フィガロの結婚」より序曲など4曲が披露され、本校吹奏楽部が感謝の気持ちを込めて「オーメンズ・オブ・ラヴ」を演奏しました。

演奏を聴いた中学・高校の生徒たちは、超一流の音の迫力や美しさ、息の合ったアンサンブルに感動している様子でした。終演後は生徒会長が謝辞を述べ、生徒会役員たちが花束と記念品を贈呈しました。全校生徒で美しい音楽に触れ、楽しい豊かな時間となりました。



## 「尚絅の森」で校外学習

令和4年12月2日(金)、中学2年生が阿蘇市西小園の「尚絅の森」で植樹活動を行いました。生徒からは「斜面での作業だったのでとても疲れました。木を植えるのは大変なので、森を大切にしていこうと思いました」「今回植えた苗が大きく成長して欲しいです」となどの感想が寄せられました。

今後、生徒たちは約半年後に再度現地での下草刈りを行い、学びを深める予定です。



## 「食」の大切さを学ぶ～尚絅中大連携授業～



令和5年2月16日(木)、尚絅中学校と尚絅大学の連携で、中学2年生が「食と環境」について学ぶ授業に取り組みました。今回は、中学校の教室に尚絅大学生活科学部栄養科学科の澤部加奈子先生を講師としてお招きし、講話をしていただきました。

生徒たちは、食べ物の大切さ、自給率や調理・保存の工夫など、具体的な話に興味津々の様子でした。

## ランナーを全力応援！～熊本城マラソンボランティア～

令和5年2月19日(日)に、本校生徒・教職員90名ほどで熊本城マラソン給水ボランティアをしました。新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ数年は中止を余儀なくされてきましたが、今年は3年振りに開催されました。記念すべき10回目の節目を迎え、コース沿道には応援に駆け付けた人々の姿も多くあり、小雨の降る中でしたが大変な盛り上がりでした。

参加した本校生徒たちは担当エリアとなった平成大通りにある江越橋付近(第一給水所)で、熊本城マラソンの“Road to smile”的テーマのもと、笑顔で給水しながら1万2千人のランナーにエールを送りました。



## 祝「令和4年度文部科学大臣優秀教職員」受賞

「令和4年度文部科学大臣優秀教職員」に本校英語科の佐藤直美教諭が選ばれ、令和5年1月18日(水)東京で行われた表彰式に出席し、表彰状を授与されました。

佐藤教諭は本校中高一貫コース主任で、主に中高一貫コースの中高生の授業を担当しており、国際交流やグローバル教育の推進も担っています。英語暗唱・弁論やスキット、ディベート等を含め、継続した指導に尽力し、生徒を全国大会出場に導いたこれまでの貢献や英語教育の推進に寄与した功績を評価されました。



## 「『小さな親切』実行章」授与

英語講師のウォーターマン・ジュリー先生が、「小さな親切」運動熊本県本部である熊本銀行の淀川穀支店長から、「小さな親切」実行章を授与されました。通勤前の1時間程度、自宅周辺の清掃を10年以上にわたり毎日行われていることが知られ、今回の受賞となりました。

ウォーターマン先生は、昭和58年に初来日し、平成15年に来熊。日本の学校では掃除を生徒が行うということに新鮮な驚きがあり、自分でもやってみようと思ったことがきっかけで、“I want to say thank you to Japan.(ありがとうございます、日本)”という気持ちで、悪天候の日でも欠かさず清掃活動を続けているそうです。

